

豊栄病院患者総合支援センター いするぎ通信 平成30年11月

空から白鳥の鳴き声がします。「新潟観光ナビ」の見頃情報によると、瓢湖だけが◎で、他は△です。見に行こうか？ 今月もいするぎ通信を届けます。



臨床検討会のお知らせ

日時:平成30年11月13日(火)午後6時

場所:豊栄病院 健診棟2階 多目的ホール

講演:緑内障に関する最近の話題 梶野哲哉先生

共催:豊栄病院、アルコンファーマ株式会社

●11月の臨床検討会は、眼科の梶野先生が話をしてくださいます。専門である緑内障に関するお話の他留学のお話もされるかも。楽しみです(柄澤)。

●MSW日誌:石動座でまる子を演じた荒川です。Tさん74歳男性。ALSの診断がつき、制度説明のためTさん夫婦にお会いしました。既に呼吸筋麻痺がはじめており、今のうちに胃瘻増設したほうが良いと医師に勧められていました。Tさんは迷いなくわたしに「胃瘻を作ってもらおう」と話しますが、その横で妻の不安な表情が見て取れました。Tさんはいわゆる亭主関白。自身の意思のみで治療方針の選択をどんどん進めていきますが、妻の気持ちが追いついていませんでした。主治医と相談し、胃瘻で栄養の注入をされている方を実際にTさん夫婦に見てもらうことに。合わせて病状が進行するとどんなふうになっていくか、ADLが低下すれば家族の手助けが必須となることを主治医とMSWより丁寧に説明しました。詳しい説明を受けてTさんはようやく事態を慎重に受け止め始め、説明後からは妻の顔

を見て「どうする?」と声をかけるようになりました。選択した治療方針を今一度再確認し、病気に対して夫婦で向き合うきっかけとなれたかなと思います(荒川)。

●多職種チームでの看取りの検討を再現します。

日時:平成30年11月6日(火)午後5時15分

場所:豊栄病院 健診棟5階 会議室

今回は透析の患者さんでした。認知症が進行し寝たきりになり、透析低血圧などから透析の継続も困難になった方でした。透析の中断に関する議論がありました。今回は癌末期の患者さんの検討を再現します。是非参加を御検討ください。なお、検討会の内容に関しては、「Drキリコとブラックジャックの対話」という文書にまとめています。問い合わせや参加は地域医療連携室 天木まで(柄澤)。

●NST勉強会

日時:平成30年11月15日(木)午後5時15分

場所:豊栄病院 健診棟2階 多目的ホール

テーマ:「経管栄養」について～排便コントロール、合併症(逆流、嘔吐、下痢、便秘)、絶食明けへの対処法、経腸栄養投与方法(水先投与方法など):ネスレ日本(株) 中山慶 先生:

前回も院外からの参加がありました。今回も面白いかも。院外から参加の方は地域医療連携室 天木まで(小林真)。



編集:今年の病院祭・石動座公演は、最後の意思を確認するためなら未告知の末期癌患者に告知をしたほうが良いだろうか?というテーマで作りました。みんな、考えてくれたかな?センター長柄澤良